



となん

【学校経営目標】

【目指す生徒像】

よりよい未来の創造と自己実現を目指し
学び活動する生徒の育成

【学校教育目標】

[知] 自ら学ぶ意欲を持つ生徒

[徳] 豊かな心を持つ生徒

[体] 健康でねばり強い生徒



さきやまようしょう

発行者：校長 崎山 用彰

☆下中だより「となん」は、
学校HPから閲覧可能→



英ウェールズ平和メッセージ

子の貧困克服 世界へ発信

今年もうちなーぐち翻訳

(公衆電話近くのミニホワイトボードにも記してありましたが) 5/15は「何の日」でしたか? 沖縄に関わることで言うと、「沖縄本土復帰記念日」でした。当日の新聞(沖縄タイムス)に、みだしの記事が掲載されておりましたので紹介します。

記事の一部を紹介します。

【ジョン・ミッチェル特約通信員】英ウェールズ最大の若者組織「Urd」は15日、毎年恒例の平和と友好のメッセージを発表した。今回のテーマは同国で深刻な子どもの貧困の克服。沖縄にも共通する課題で、ウェールズ語原文のメッセージが今年もうちなーぐちに翻訳され、他言語訳とともに世界へ発信された。

「権利」翻訳に苦心:比嘉さん

【ジョン・ミッチェル特約通信員】うちなーぐち訳されたタイトルは「困窮(くんちゅう)」。比嘉光龍(ひがばいろん)さんは、翻訳に当たり、悲しみのない社会に生きる「right(権利)」という英単語に苦心したという。

英語圏で「個人が当然持っているもの」と捉えられる権利の意識が日本では薄く、うちなーぐちにも権利とした。「だからこそその権利を当然尊重しよう、という文脈でつながる」と説明する。

ウェールズでは2011年、ウェールズ語が英語と並ぶ公用語とされた。だが沖縄では琉球諸語復興の取り組みはあるものの、言語消滅の危機に迫っている。

比嘉さんは権利意識の差の要因を一つに挙げ、「ウェールズの成功と沖縄の現状を比べると苦しくつらい」と嘆く。一方で「われわれは日本人ではなく琉球人だと主張できる権利があることに、詩の翻訳を通じて気付くことができた。感謝している」と語った。

【ウェールズ】イングランド、スコットランド、北アイルランドとともに英国を構成する4国の1つ。独自の議会と法律があり、外交と防衛を除く自治権を持つ。人口約300万人。首都カーディフ。

◎「宮古方言」では?祖父母に質問してみましょう。

【お知らせ】★5/14に予定されていた「交通安全講話」は、講師との連絡不十分によりキャンセルとなりました(後日行うかどうかは、これから調整します)。

◎マスク姿の増加や、体調不良・風邪症状による欠席が気になります。健康管理に留意しましょう。



英ウェールズの若者平和メッセージ

困窮(うちなーぐち訳)

困窮(うちなーぐち)がさりーる若者めちやーや
誠知(まじ)つちよーん。

重ん(ちん)ちやーや木ぬ如(きぬごと)く
太陽(たいよう)求(もと)みとーん。

親母(うやふ)大父(おやふ)と
繋(つな)がてい

うれー深く
我達(われたち)心(こころ)疼(いた)ふちよーん。

泣(な)ちーぬー当(あた)い前(まへ)に
島(しま)ぬ大人(おとな)から

慰(なぐさ)みらりーしどー重(おも)。

重(おも)や国(くに)ぬ宝(たから)。
愛(あい)ささりーしどー重(おも)。
うりどー重(おも)んちやー重(おも)。

島(しま)ん人(ひと)皆(みな)つし
育(そだ)ていーしどー重(おも)。

夜(よ)明(あ)け方(かた)。
重(おも)ぬ泣(な)声(こゑ)聞(き)ちーぬー

霧(きり)や晴(は)りてい。
世(よ)界(かい)や目(め)見(み)みーん。
何(なん)万人(まんにん)や何(なん)ち泣(な)ちゅが分(わ)かいいん。

青(あお)葉(は)咲(さ)ちゅる香(か)。
望(のぞ)みぬあん。
うぬ重(おも)ぬ思(おも)い御(ご)舅(きょう)聞(き)ちゅる苦(くる)。

まじゅん育(そだ)ていらな
若(わか)者(もの)めちやー
我(われ)達(たち)後(あと)や、うったーんかい。

島(しま)ん人(ひと)皆(みな)つし
育(そだ)ていーしどー重(おも)。

重(おも)や国(くに)ぬ宝(たから)。
皆(みな)つし育(そだ)ていらな重(おも)し重(おも)。

困窮(日本語訳)

困窮(くんきゆう)を生きる若者(わかしよ)は
真(ま)実(じつ)を知る

木(き)のよう
光(ひかり)へ枝(えだ)をのぼす

根(ね)をはやし
共(き)同(どう)体(たい)がはくくんできた重(おも)分(ぶん)を
受(う)け取る

悲(かな)しみをいやしてくれる共(き)同(どう)体(たい)で
誰(だれ)もが生(い)きるに値(に)する

これ(これ)は私(わたし)たちの権(けん)利(り)
これ(これ)は私(わたし)たちの存(ぞん)在(ざい)
これ(これ)は私(わたし)たちの声(こゑ)

「子(こ)どもを育(そだ)てるには村(むら)全(ぜん)体(たい)の
かか(か)わ(わ)り(り)が必(ひ)要(よう)だ」とい(い)う

夜(よ)明(あ)け
私(わたし)たちの嘆(なげ)きが響(ひび)く
霧(きり)は晴(は)れ
世(よ)界(かい)は目(め)覚(さ)める
世(よ)界(かい)は耳(みみ)を傾(かた)めてくれる

若(わか)葉(は)が開(ひら)く
希(き)望(ぼう)が生(い)まれる
あな(あな)たも耳(みみ)を傾(かた)めてくれる

後(あと)をになうのは若(わか)者(もの)たち
育(そだ)てるのは共(き)同(どう)体(たい)

「子(こ)どもを育(そだ)てるには村(むら)全(ぜん)体(たい)の
かか(か)わ(わ)り(り)が必(ひ)要(よう)だ」とい(い)う
これ(これ)は私(わたし)たちの権(けん)利(り)

どう
私(わたし)たちの村(むら)にな(な)ってほ(ほ)しい。